

「わかる授業」実践に向けての授業改善プラン

令和4年度 府中市立府中第十中学校

教科名 美術 科

| | 「学びに向かう力等を育む」の育成に関わる現状と課題 (「全国学力・学習状況調査」・「府中市指導方法改善調査」・「本校の第1回授業評価アンケート結果」を踏まえて) | 現状の課題を改善するための具体的方策および「主体的に学習に取り組む態度」の育成に関わる方策 | 授業改善の評価方法 | 取り組みの修正点 (第2回生徒アンケートを踏まえて) | まとめ 成果と課題 |
|----|---|---|--|---|---|
| 1年 | <p><現状> 作業に集中して取り組んでいる生徒が多いが自分から発想しなければならない課題が苦手な生徒が見られる。</p> <p><課題> 自ら発想する作業の取り掛かりに大きな差が生じてしまう。作業進度に大きな差が生じて、早期完成者と遅延者への対応。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 様々なタイプの作品見本をなるべく多く提示する。 自分が取り組んでみたい課題を明確化するために、クラスメートの課題設定を参考にする。資料集めや準備に費やした時間を評価する。生徒の効果的な工夫を、全体で共有してアドバイスする。 机間指導で、作業がスムーズに進まない生徒に対するアドバイスに重点を置く。早期完成者の課題設定。 | <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを活用して作業の遅れや課題をチェックし、次の授業のアドバイスに生かす。 1時間毎の作業や変化を記録させ、作品の評価と作業過程の両方を評価する。定期テスト・鑑賞プリント自己評価カード | <ul style="list-style-type: none"> 作業進度の遅れに対する具体的方策。 本日の作業目安を明確にする。 イラストなどの資料の提示。 絵の具などの作業環境の整備。 質問・疑問への素早い対応 | <p>作業進度については、自己評価カードが有効に働いて、差が少しずつ縮小してきたが、クラスによってはなかなか縮まっていない。1時間ごとの進度をしっかりとチェックし、毎時間ごとの進度目安を確認させる。遅延生徒を集中的に援助する必要がある。</p> |
| 2年 | <p><現状> 自ら発想する面が弱く、見本の模倣や人に頼ってしまう。</p> <p><課題> 発想に時間がかかってしまう生徒は止まったままで、改善策を考えられない。作業進度に大きな差が生じてしまう。遅延者の底上げと早期完成者のモチベーションの持続。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 様々なタイプの作品見本をなるべく多く提示する。 机間指導で、作業がスムーズに進まない生徒に対するアドバイスに重点を置く。色塗りなどの技術面や配色などのアドバイスで底上げを図る。 授業途中で効果的な工夫を共有する。課題をピックアップして全体でアドバイスする。 | <ul style="list-style-type: none"> 課題設定までの過程をワークシートで記録する。 製作過程もワークシートで記録させる。 1時間毎の作業や変化を記録させ、特に作業進度の差を把握する。定期テスト鑑賞プリント自己評価カード | <ul style="list-style-type: none"> 作業進度の遅れや停滞への対応 本日の作業目安を明確にする。 作品見本やアドバイスで発想・構想の手助けをする。 質問・疑問への素早い対応。 道具の効果的な使い方を机間指導でアドバイスする。 | <p>少しずつ、進度の差が評価に影響してしまうことを意識し全体的に差が詰まってきた。今後授業ごとの進度目安をその都度確認することと、進度を1時間ごとにチェックして、遅進生徒へのアドバイスを重点的に行う必要がある。</p> |
| 3年 | <p><現状> 自分から発想したり、考えなければならない課題が苦手な生徒が、人に頼ってしまう。</p> <p><課題> 作業進度の遅れが出来栄にも大きく影響している。積極的に質問する生徒は意欲的に作業に取り組んでいるが、消極的な生徒は取り残される傾向にある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 様々なタイプの作品見本をなるべく多く提示する。 作業途中に止めて、共通する課題についてヒントやアドバイスを全体でする。机間指導を工夫して平均的に回り、作業がスムーズに進まない生徒に対するアドバイスに重点を置く。クラスメートの作品を参考にさせて、製作意欲につなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを効果的に活用し、製作過程の課題をチェックする。 1時間毎の作業や変化を記録させ、作品の評価と作業過程の両方を評価する。全体に関わる質問をピックアップし、次の授業で確認する。定期テスト・鑑賞プリント・自己評価カード | <ul style="list-style-type: none"> 作業進度の遅れや作業意欲の停滞への対応 本日の作業目安を明確にする。 作業進度の早い人の見本提示やアドバイスで発想・構想の手助けをする。 質問・疑問への素早い対応。 道具の効果的な使用方法をレクチャーする。 | <p>作業進度の大切さをよく理解しているため、思ったよりもあまり差がつかなかった。今後も進度の差が、評価にも影響することを、3年次最初にしっかりと意識させる。机間指導で、疑問について質問をできないタイプの生徒や遅進生徒を机間指導で救い上げる。</p> |

